

松良さん(京教大名誉教授)紀行文に

宇治市民らの文学作品を対象にした今年の「紫式部市民文化賞」に、京都教育大名誉教授の松良俊明さん(78)の紀行文「回想のアーミテール」ある昆虫研究者の異文化体験」が選ばれた。奨励賞に1作品、ユース賞に2作品が決定。贈呈式は11月22日に市文化会館(同市折居台)で行われる。

松良さんはアリシゴクなど昆虫の生態・行動の研究で知られる。大阪市生まれで、京都大学農学研究所博士課程修了。京都教育大教授を2012年に退官し、名誉教授に。

受賞作は、三千年前に昆虫研究のため訪れたオーストラリアでの半年間を描いた回想録。タイトルのアーミテールとは東部の小さな町の名前で、さまざまな人々の交流や歴史・文化に対する考察

宇治「紫式部市民文化賞」



オーストラリアでの体験をつづった紀行文で紫式部市民文化賞を受賞した松良俊明さん

奨励賞 水上さん



随筆で奨励賞に選ばれた水上壽恵さん

などがテンポ良くつづられている。選考委員で元府立高校校長の藤井直さんは「二つ二つのエピソードに引き込まれ、楽しく読み進めることができる。時に自虐的に、あるいはユーモアや皮肉を交えながら丁寧に描かれ、心揺さぶられる異文化体験記」と講評した。

松良さんは受賞の言葉で「地方都市ならではの豊かな自然と明るく素朴な人々との交流は今でも私の心に残っています」と振り返った。

同賞奨励賞に選ばれたのは、水上壽恵さん(75)の随筆「私の投稿50年」。26歳以降に京都新聞などに投稿したエッセーや詩、川柳などをまとめた。

30歳未満の作者に贈られる同賞ユース賞は、立命館宇治高3年山本結月さん(18)の小説「依頼料理屋四島」と、府立宇治支援学校高等部くらし健康コースの生徒た



ユース賞を受賞した立命館宇治高3年の山本結月さん

ユース賞 山本さん、宇治支援学校高等部くらし健康コース



ユース賞に選ばれた宇治支援学校の生徒たち

ちによる句集「令和6年度 思い出川柳」に決まった。ユース賞の団体受賞は初めて。

紫式部市民文化賞は市民文化の向上を目的に同市と市教育委員会が毎年実施している。35回目の今年は市内在住・在勤・在学の30個人、3団体から応募があった。

贈呈式では、今年の紫式部文学賞を受賞した作家水村美由さんが「日本語の幸せと女手」と題して講演する。参加無料で、希望者は28日までに郵送かメールで申し込む。応募多数の場合は抽選。問い合わせは市文化スポーツ課0774(20)8724。(本好治史)